

医療機器メーカーにおけるサイバーセキュリティ強化体系的な学びや職務スキル定義の重要性

ネットワーク基盤やクラウド環境を取り巻くインシデントに対応できるチームメンバーの育成とCSIRT業務の必須要件としてグローバル資格を採用



シスメックス株式会社

神戸市中央区脇浜海岸通
1丁目5番1号
www.sysmex.co.jp

「現在弊社では、外部委託先サービスレベルの再定義と、サイバーセキュリティに関する専門的な知識の習得、インシデント対応業務に必要なスキルや関連技術の獲得に注力して取り組んでいます。

グローバルで通用するCompTIA認定資格の獲得により、当社グループのセキュリティレベルを向上させていきたいと考えています。」

Sysmex-CSIRT
谷本 重和 様
(DX戦略推進本部)

導入のCompTIA認定資格

- CompTIA CySA+
- CompTIA PenTest+

CompTIA日本支局

東京都千代田区神田三崎町
3-4-9 水道橋MSビル7F
www.comptia.jp

CompTIAは、1982年、IT業界の要請から発足した非営利の業界団体です。ITに携わる企業や個人の利益を高めるため、「教育」、CompTIA認定資格での「認定」、IT業界の声を反映しIT政策に反映するための「政策支援活動」、IT業界への「社会貢献」の4つを柱として活動を続けています。米国シカゴ本部を中心に世界に10の拠点をもち、2001年に日本支局が設立されています。

取得対象者

インシデントレスポンスチーム (Sysmex-CSIRT)
外部委託先メンバー (SOC Tier1)

取り組みの背景

シスメックス株式会社は、1968年の創立以来、血液や尿などを採取して調べる検体検査の分野において、世界中のお客様にソリューションを提供してまいりました。ヘマトロジー（血球計数検査）、免疫検査、血液凝固検査などの分野に加え、ライフサイエンス領域へと多岐に渡り、事業を展開しています。現在では検体検査に加え、必要な機器・試薬・ソフトウェアの研究開発から、製造・販売サービス&サポートを一貫して行うヘルスケア企業として、世界190以上の国や地域の人々の健康を支えています。

設立の経緯:ヘルスケア企業として、事業を支えるICT基盤、提供する製品・サービスにおけるセキュリティの役割・使命は極めて重要であると考えています。社内外の関係者と連携し、当社事業の運営に欠かせない重要情報に加え、お客様からお預かりしている情報、さらには当社製品ならびに提供するサービスに対し、サイバー脅威から守り、リスクの継続的な低減に日々取り組んでいます。

グローバル資格導入の背景:CSIRTの設立時は、当社社員と委託先メンバーで構成され、インシデント対応の経験がない状態からのスタートだったこともあり、対応時のパフォーマンスや業務の成熟度をどう向上させるのか頭を抱える日々でした。まず行ったのは、CSIRT（インシデント対応チーム）とSOC（セキュリティ監視チーム）の業務を再定義し、それぞれの役割について業務遂行の基準（レベル）と階層（Tier）を明確化し、CSIRTをプロアクティブに活動する機能、SOCをSLAに基づくリアクティブに活動する機能と定義しました。その際、海外版社への対応を見据え、グローバルIT資格のCompTIA導入が必須でした。

CompTIA CySA+・CompTIA PenTest+をTier1業務必須要件に

監視メンバーにはセキュリティアナリストのスキルを、診断メンバーにはペネトレーションテスターのスキルを問う認定資格の取得を義務付けました。



CompTIA CySA+は、ネットワークとデバイスのビヘイビア分析と継続的なセキュリティモニタリングからサイバーセキュリティの脅威を検出、防止、対処するスキルを証明する認定資格

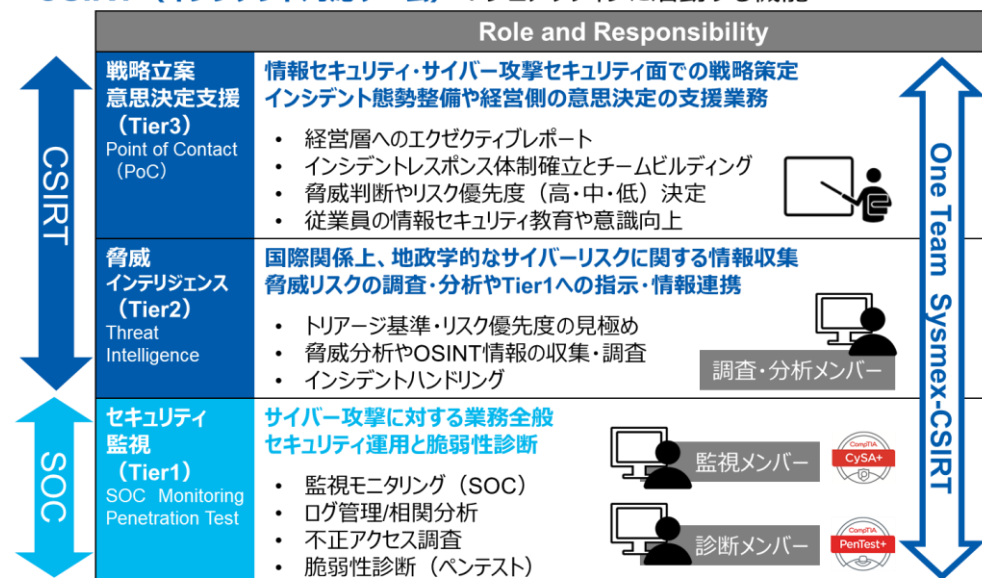


CompTIA PenTest+は、ネットワーク上の脆弱性を特定、報告、管理するための実践的なペネトレーションテストを行うサイバーセキュリティプロフェッショナル向けの認定資格

取り組み

チーム強化に伴う業務スキル定義・メンバー育成

CSIRT（インシデント対応チーム）：プロアクティブに活動する機能



SOC（セキュリティ監視チーム）：SLAに基づいてリアクティブに活動する機能

CompTIA®